

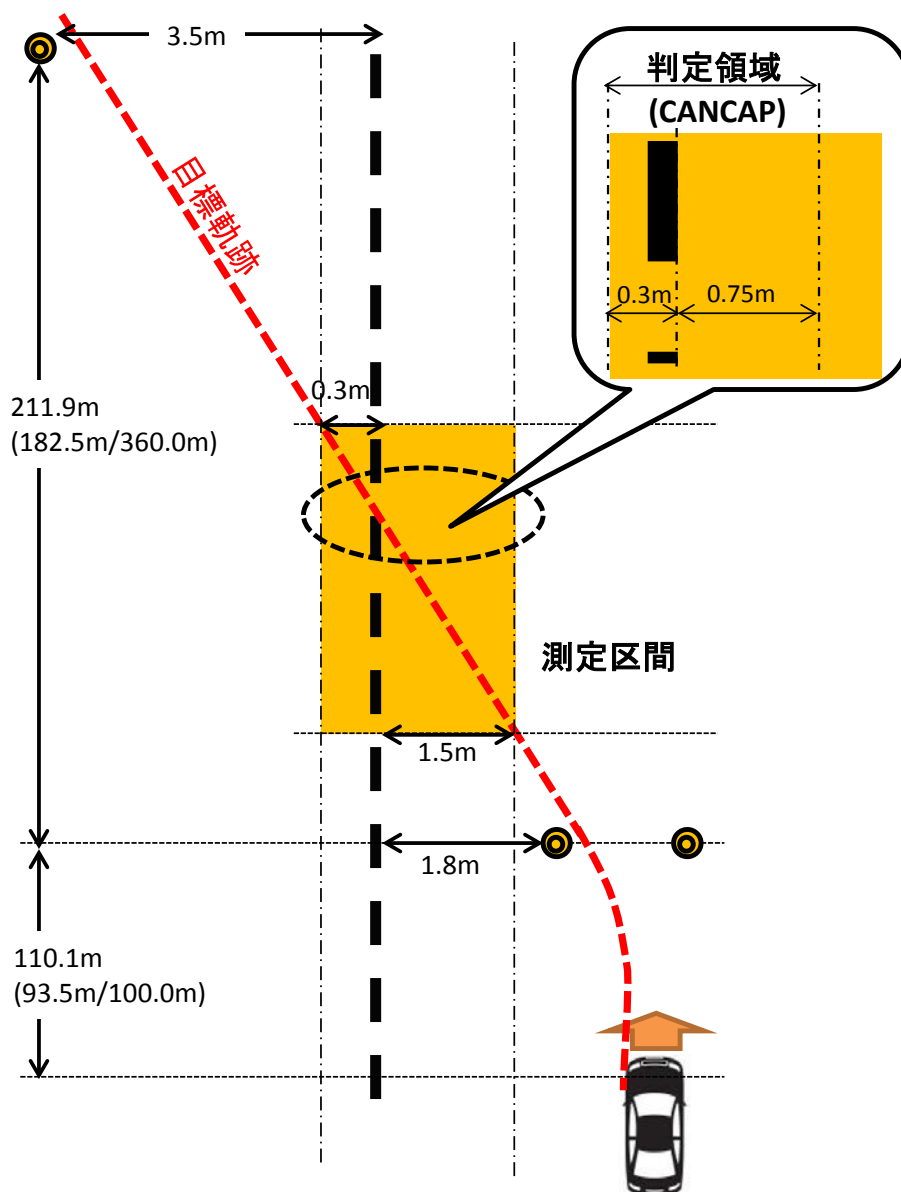
車線逸脱警報装置（LDW）の試験方法・評価方法の概要

1. 試験方法

米国のCANCAP（Collision Avoidance New Car Assessment Program）で導入している試験方法を基本に、日本の事故実態等に合わせ、以下の項目を変更する。

- (1) 警報が開始される速度を、CANCAPで定められている70km/hから、日本の事故実態を鑑みて60km/hに変更する。
- (2) 車線（レーンマーカー）の種類は、日本の道路構造の法規に定められたものとする。
- (3) 試験回数については、今後の調査研究により決定する。

〔一定の早さで車線に近づいた場合に、判定領域内での警報を確認〕



2. 評価方法

(1) 試験速度において、LDWが作動することで、その試験速度における配点を得点とする。

60km/hから作動する車線逸脱警報装置の評価点は、平成21年度のデータを基に算出した事故低減効果の算出結果から8.0点であった。(表1)

(2) 事故低減効果算出結果から次の得点を付与する。

① 60km/hから作動する装置には8点を付与する。

② 70km/hから作動する装置には2点を付与する。(P)

3. 調査研究

(1) 調査項目

横速度、試験車速、逸脱方向、車線の種類

(2) 調査内容

① 試験の再現性やデータのばらつき確認

② 試験条件(車線の種類毎の動作状況)

4. 今後の予定

(1) 車線逸脱警報装置(LDW)評価試験における再現性及びばらつきについて調査研究結果をまとめる。

(2) 車線逸脱警報装置(LDW)試験方法、評価方法の策定を行う。

表1. ASV技術の事故低減効果に基づく予防安全アセス評点

整理#	ASV No.	装置の種類	ASV技術の名称	平成24年度第4回予防安全WG資料(高額順に再編集)						
				案1 死亡事故	案2 死亡・重傷	案3 死亡・重傷 社会的損失	死亡事故 低減件数 (a)	重傷事故 低減件数 (b)	死亡+重傷 事故低減件数 (a)+(b)	社会損失額 (a)*3億円+ (b)*0.8億円
5	(10)	警報	車線逸脱警報装置(LDW)	17	14	15	103	448	551	667
			(危険認知速度を51km/hとして算出)	11	6	8	67	206	510	366